

テーマ①: 日常生活でできる持続可能な活動を、見える化し、広めるには？

世代に合わせた実体験を伴う働きかけをすることで、自然を愛して、環境に配慮した、消費活動や行動を促したい。

認証ラベルの普及啓発、企業に具体的なユースならではの視点を共有、マイナンバー制度に日常生活と消費活動の紐付け(買い物履歴、ゴミ拾い活動、乗り物の利用、電気エネルギー消費量の可視化)などを提案していく。

テーマ②: 地域の活性化と生物多様性保全を同時解決する取り組みを考える

地域の自然に無関心で地域愛がない人が多いという問題を解決するために、私たちユースは

- ①地域の人にユース目線の地元の良さや自然の魅力を知ってもらう
- ②その魅力を地域外に広く発信することを目的として、地域と連携して魅力写真コンテストを開催します。

ユースが地域固有の価値に対しての「ウェルノウン世代」と「アンノウン世代」の懸け橋となる。またユース自身が地域の生物多様性を発信するイベントに参画することで、「アンノウン世代」へのステークホルダーとしての自覚を促し、公益性と収益性を両立させる地域づくりに貢献する。

テーマ③: 生物多様性や自然について学べるまちづくり

人材育成の観点から、一般市民が自然に対する興味や触れるきっかけを持つことができ、生物多様性を学べるまちづくりをするために、ユースが橋渡し役となり、市民、企業、専門家が一体となって、緑地を整備し、ICTなどの技術を活用し公園の利用を愛を持って 促進し、きっかけづくりを行います。

2030年までに、地域(企業・自治体・大学等)が連携した「バイオミクリーシティ」を実現することを提案する。「バイオミクリーシティ」では、生物を模倣したデザインで施設を建築し、「まち」そのものから生物多様性の価値を学べる場をつくることなど、自然の魅力を用いた環境と共生することを目指す。